



Jonetsu SL Tairiku

「八国山アイランド (Hachihoku Yama no Shima)」の総務人であり、インターリンクのセカンドライフ事業を担ってきた宮田 三恵子(みやた みづ恵)さんは、この日の進行役。セカンドライフ内の「船橋・防災カフェ」に集まった参加者たちの意見をチャットで吸い上げ、リアル会場に伝えていくリアルとバーチャルのつなぎ役として大活躍する様子は、小説の中の「グリア」のイメージのままだ。

高橋さんが傾ける新事業

高橋さんが傾ける新事業は、新しいアプリケーションやネットビジネスにどんどんチャレンジしていく部門だ。おととしの10月、高橋さんと事業部の中島部長の2人は、多言語SNSの立ち上げを準備するため中国に滞在していた。「小説とまったく同じく、社長の思いつきから飛ばされた」と話す中島部長。女アバターになって男性に恋をされたり、社内のデスクの前で寝落ちしたり、といった若手の脚色部分(せ)はさておき、本人も地で広島部長をいく、明るく前向きな人柄である。プロジェクトが失敗に終わり、12月に2人は愛方にくれ日本に帰国した。「2人とも暗く落ち込みながらも、肌が残っているかも知心配をほど。ボーナス査定も数々の評価だつ

セカンドライフを担う社会貢献活動に携わっている、株式会社インターリンクの専務取締役、中島麻朗(なかじま まろ)さんと、高橋菜生(たかはし なまき)さん。右は、インターリンク「新担当の竹内麻朗(たけうち まろ)さん。



た」と中島部長。そんな様子も横で見ながら、別プロジェクトに携わっていた同事業部の竹内麻朗さんは「中国に行かれないでよかった」と胸をなでおろした。

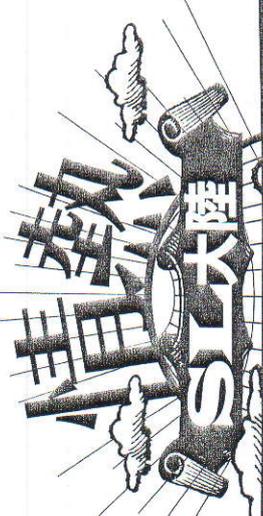
そして、帰国後一番に今度はセカンドライフ事業に着手することになった。セカンドライフについてはネットニュースで知っていた高橋さん。ゲーム好きでもあり、リアルマネーとリンクの交換について面白いと思い、興味を持った。

セカンドライフで何をするか？ 漠然とした中で、最初はセカンドライフを使ってビジネスモデルの検討を始めた。調査や検討を繰り返して2、3か月経った頃に中島部長いわく「米国ではビジネス参入などの話で断られているもの、実際は、お

グリアの夢 セカンドライフでの社会貢献活動

株式会社インターリンク 新規事業部、高橋菜生氏

セカンドライフを担っての社会貢献活動も盛んになってきた。その中で自然保護活動から、赤い羽根募金、ウミガメ保護、そして政府の防災広報まで、多岐にわたって支援を行っているのが株式会社インターリンクだ。その活動の中心となっていた「グリア」こと glia Winklerさんに焦点を当てた。



文: Chizuy Dilley 写真: 高橋菜生